

TV JUMPER for CAN

TV-NAVI JUMPER for CAN

取扱説明書

この度は、BLITZ『TV JUMPER for CAN』ならびに、『TV-NAVI JUMPER for CAN』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。使用方法や諸注意に関しては、本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用をお願いします。

注 本製品は日本国内専用設計です。詳しくは、本取扱説明書「ご使用上の注意事項」をご覧ください。

重 本製品には、保証書が同梱されています。必ずカスタマー登録を行なってください。カスタマー登録されませんと、保証が無効になる場合がありますのでご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

重 取り付けや車種別の注意事項は、「車種別取付説明書」をよくお読みになった上で、ご使用下さい。

注意記号

危	この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
警	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
注	この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を負う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
重	本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

動作上の注意事項（必ずお読み下さい）

重	目的地設定後、ルートガイダンスをご利用の場合は、必ずTVまたは、ノーマルモードにしてからご利用下さい。
重	お取り付けする機種によっては、車両メンテナンス機能が正常に動かなくなる（表示に誤差を生じる）場合がありますが故障ではありません。
重	車種（アイテム）によってスイッチをオンにした時から、ナビゲーションの自車位置が狂うことがありますが、スイッチをオフにし、しばらくすると正常動作に戻ります。

製品内容一覧

CAN 本体・・・1



※本体のデザインが写真と異なる場合があります。※デザインは予告無く変更する場合があります。

コンパクトスイッチ・・・1



ノーマル復帰コネクタ・・・1



車種別接続ハーネス・・・1



※製品によりコネクタ形状が写真と異なります。

本体固定用両面テープ・・・1

取付・取扱説明書・・・1

保証書・・・1

ご使用上の注意事項（必ずお読み下さい）

危	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中のテレビ視聴やナビゲーションの目的地設定をする為に開発された製品です。運転者は運転中絶対にテレビを見ないで下さい。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行なわないで下さい。
警	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないで下さい。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると、安全運転義務違反となりますので、走行中は絶対にテレビを映さないで下さい。
重	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
重	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
重	走行時に TV を表示させない場合は、車両側の操作スイッチにより電源の OFF が、ナビ画面に切り替えて下さい。もしくは、本製品を取り外し、ノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。
重	本製品を取り付けても走行中に TV を見たり、ナビを操作したりすることを可能にする以外の機能はありません。
重	本製品を使用して発生した事故・違反行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますので、ご了承下さい。
注	本製品は日本国内のみで使用が可能です。万が一、適合車種に取り付けていた場合でも日本国外で使用された場合は、保証の対象外になります。また、適合車種以外に取り付けた場合も保証の対象外になります。
注	車検や点検などでディーラーや販売店・修理店などへ入庫する場合は、コネクタから一旦本体を取り外し、接続ハーネスコネクタに本製品付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。

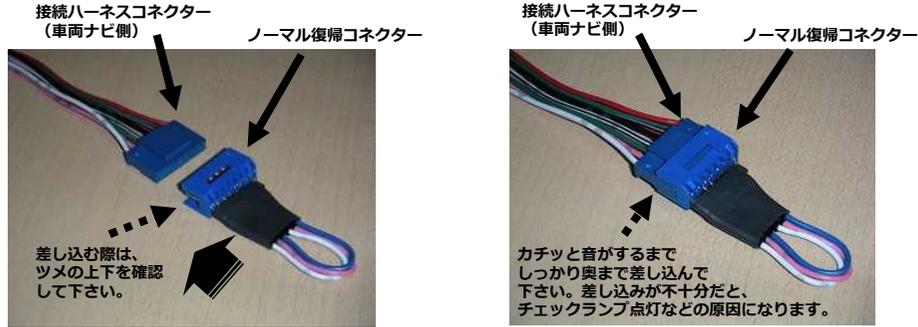
取り付け上の注意事項（必ずお読み下さい）

注	取り付けの際は必ず安全な場所でエンジンを停止させ、5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し作業を行なって下さい。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどをして下さい。
注	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は、破損・汚損及びネジ等の紛失には十分に注意して作業を行なって下さい。
注	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐ引き抜いて下さい。無理に引っ張ると、車両側ハーネス及びコネクタ、ナビユニット側コネクタピン及び基盤等が破損や、断線する恐れがあります。
注	ハーネスの接続はコネクタがカチッと音がするまでしっかりと差し込み、接続不良を起こさないように注意して下さい。
注	本製品は車両側の適切な場所へ両面テープ（製品付属）やタイラップ等で固定して下さい。固定しないと接触不良を起こしたり、断線の原因になる恐れがあります。
注	取り付けの際は、シートベルト、ペダル類、ドアなどの可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まれる可能性がある場所には、設置しないで下さい。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあり危険です。
危	取り付け終了後走行を伴う動作テスト等を行なう際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方が動作テスト作業を行ない、運転手はモニターを注視しないで下さい。
注	車種・アイテムによってアース線の接続を必要とする場合は、アースが不十分だと本製品は正常に動作いたしません。確実にアースを取るようして下さい。
重	本取扱説明書に取り外し要領が記載されていない車両の作業を行なう際は、あらかじめその車両の内装脱着要領の資料を入手し、養生等をしっかりと慎重に行なって下さい。

スイッチについて（必ずお読み下さい）

注	エンジンを切り、キーをロックしてもしばらくは車両との通信が行なわれていますが、車両との通信が終了（OFFモード）時は、スイッチは自動で消灯します。※車種によっては消灯するまでの時間が長い場合があります。
注	OFFスタートモードの場合、スイッチが淡く点灯（ノーマル状態）ではノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定もできません。また、エンジンを切り再度エンジンを始動した場合は必ずノーマルモード（淡く点灯）に戻ります。
注	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビを観たりナビの目的地設定をする事が出来ません。
注	テレビを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。その場合は、スイッチを OFF 状態にしてしばらく走行して下さい。GPS を受信して自動的に補正され正規の自車位置へ復帰します。停車中や屋根がある場所では GPS をうまく受信できず補正されないので必ず屋外を走行して下さい。
注	車種（アイテム）によってスイッチを操作し、ナビモードで目的地設定をする際、モニター上の地図では自車位置がその場で固定され走行中の正規の現在地に対してズレが生じます。その際は、ノーマルモード（淡く点灯）または TV モード（点灯）に切り替えて走行をすれば、正規の現在位置へ自動修正されます。
注	車種（アイテム）によってナビモードで設定が完了後は速やかにノーマルモード、または TV モードへ切り替えて下さい。ただし、手動で切り替えが行なわれない場合でも約 5 分後には自動で TV モードへ復帰します。

ノーマル復帰コネクタについて



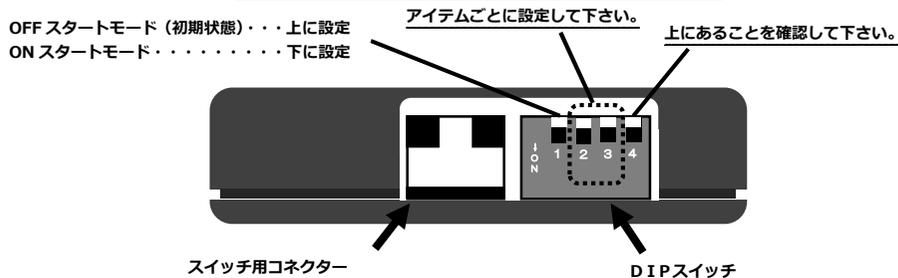
注 ディーラーなどの販売店や修理店などによっては、本製品を取り付けた状態では、車両の保証や点検が受けられない場合があります。点検等に出す場合は、一旦本体を取り外し、接続ハーネスコネクタに本製品付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。

※車種によって異なりますが、作業を行なう際は、エンジンを切りスマートエントリーシステムなどの場合は、キーを認識しない場所から作業を行なってください。車両側がキーを認識して自動的に電源が入り感電や、車両・ナビユニットが故障する原因になります。(キーの認識範囲は、車種、メーカーによって異なるので、各車両の取扱説明書をご確認ください。)

※ノーマル復帰コネクタを取り付ける事によってノーマル配線と同じ状態になります。

重 再び本製品を取り付ける際は、上記手順と同じ順序で取り付け作業を行なって下さい。ノーマル復帰コネクタを使用しないときは、必ず本取扱説明書と一緒に保管して下さい。

DIPスイッチについて



注 ※DIPスイッチ位置は車種別に設定されていますので、詳しくは取付説明書をご覧ください。
※一番右側(4番)のつまみがOFF(上側)になっている事を必ず確認して下さい。
※DIPスイッチを操作する際は、TV JUMPER 本体を車両から外すか、エンジンを切ってナビの電源が消えたことを確認してから作業を行なって下さい。

- OFF (上)
- OFF スタートモード** : エンジン始動時はノーマルモード (TV 視聴不可) (初期設定状態) スwitchを操作し TV 視聴が可能になるモードです。 エンジンを始動させる度に、スイッチの操作が必要になります。
- ON (下)
- ON スタートモード** : エンジン始動時から TV モード (TV 視聴可能) スwitchを操作せずに最初から TV 視聴が可能なモードです。 スwitchを操作すればノーマルモードにも設定可能で、そのままノーマルモードでエンジンを切り、再びエンジンを始動させても TV モードで起動し、TV 視聴が可能です。

Q&A

- Q.---ON スタートモードに設定した場合、スイッチは接続しなくても使用可能ですか？**
A.---使用できません。ON スタートモード、OFF スタートモードに関わらずスイッチは必ず接続して下さい。
- Q.---走行中、DVD や Blu-ray Disc は視聴可能ですか？**
A.---視聴可能です。ただし、ナビユニットに DVD や Blu-ray Disc の再生機能がある場合に限りです。
 ※ナビユニットに DVD や Blu-ray Disc 再生機能がある場合でも、視聴できない場合があります。詳しくは最新適合表をご覧ください。
- Q.---本製品を取り付けてからパワーウィンドウなどが操作できなくなりました。故障ですか？**
A.---取り付けの際、バッテリーのマイナス端子を外した事によって、車両の設定がリセットされてしまった可能性があります。車種別取付説明書の「取り付け後の確認作業事項」をご覧ください。
- Q.---製品を取り付けた状態で車検は通りますか？**
A.---問題ありません。ただし、スイッチを運転の際に視界の妨げとなる位置に取り付けた場合などは除きます。また、ディーラーや販売店などに車検や点検等を出す場合は、必ず付属のノーマル復帰コネクタを取り付けて下さい。
- Q.---エンジンをかけたらチェックランプが点灯し、TV が見られませんか。**
A.---DIP スwitch位置があっているか、ハーネスが抜けていないかもう一度確認して下さい。DIP スwitchの位置が車種専用の位置になっていなかったりハーネスが抜けていたりすると、車両側が異常と検知し、チェックランプなどが点灯し、走行できなくなる場合があります。取り付けの際は必ず、車種別取付説明書に記載されている車種専用の位置に DIP スwitchが設定してあるか、ハーネスがしっかりと奥まで刺さっているか確認して下さい。
 ※**チェックランプが点灯した状態での走行は非常に危険です。チェックランプが点灯してしまった場合、速やかに車両を安全な場所へ停車させ、エンジンを切り、まずは販売店・取り付け店に相談して下さい。**
- Q.---TV モード (TV 視聴可能) なのに音声のみで映像が映りませんか。**
A.---車種によっては、TV 視聴可能になるまでに時間がかかったり、スイッチを操作して TV モードにただけでは映像が映らない場合があります。
- Q.---エンジンを切っても、スイッチの赤 LED が消えませんか。大丈夫ですか？**
A.---メーカーや車種によって通信が終了する時間までが長い場合があります。詳しくは車種別取付説明書の「スイッチ操作手順」をご覧ください。※しばらくしても消えない場合は、点検または、本体を取り外しノーマル復帰コネクタを取り付けて、サポートセンターまでお問い合わせ下さい。
- Q.---アイドリングストップが動作しなくなりました。故障ですか？**
A.---バッテリーのマイナス端子を外したことによって、設定が初期化されてしまい、アイドリングストップが動作しなくなる場合があります。また、メーカー・車種・グレードによって初期設定の方法が異なります。(※初期設定の必要のない車種もあります。)詳しくは車種別取付説明書をご覧ください。
- Q.---バッテリーのマイナス端子を外す、または取り付ける際に注意する事はありますか？**
A.---感電の恐れがありますので、水などで濡れている場合はしっかり水分をふき取り、ゴム手袋をつけるなど絶縁してから慎重に作業を行なって下さい。また、外した端子の先には、ウエスや雑巾などを巻いて、端子がバッテリーなどに直接触れないようにして下さい。
- Q.---メーカーでのナビのバージョンアップや、車両の定期点検などに出す際の注意点はありますか？**
A.---ナビのバージョンアップ、修理・点検、その他カーナビ以外の作業でディーラーなどの販売店に出す際は、付属のノーマル復帰コネクタを必ず取り付けて下さい。メーカー保証が受けられない場合があります。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、ご連絡は電話にて下記宛にお願いいたします。

- 連絡先 株式会社ブリッツサポートセンター
 - 住所 東京都西東京市新町 4-7-6
 - TEL 0422-60-2277
- <http://www.blitz.co.jp/>

NCH-22

取扱説明書 No. : NCH22-003

車種別取付説明書

注意記号

- 注** この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を負う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
- 重** 本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

注 作業を行なう際は必ず、エンジンを切って5分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外して、取り付け作業を行なって下さい。

本製品は以下のメーカーオプションナビ装備車に取り付け可能です。

車種	型式	年式	システム
ヴェゼル (VEZEL)	RU1,RU2	13/12-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV リアカメラ付き
ヴェゼル ハイブリッド (VEZEL HYBRID)	RU3,RU4	13/12-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV リアカメラ付き
オデッセイ (ODYSSEY)	RC1,RC2	13/11-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV マルチビューカメラシステム付 リアエンターテインメントシステム付共通
グレース (GRACE)	GM4,GM5,GM6,GM9	14/12-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV リアカメラ付き
ジェイド (JADE)	FR4,FR5	15/02-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー ETC 車載機 + Lane Watch + 後退出庫サポート
シャトル (SHUTTLE)	GK8,GK9	15/05-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー ETC 車載機
シャトル ハイブリッド (SHUTTLE HYBRID)	GP7,GP8	15/05-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー ETC 車載機
ステップワゴン (STEPWGN)	RP1,RP2	15/04-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー ETC 車載機
ステップワゴンスパダ (STEPWGN SPADA)	RP3,RP4	15/04-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー ETC 車載機
フィット (FIT)	GK3,GK4,GK5,GK6	13/09-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV リアカメラ付き
フィットハイブリッド (FIT HYBRID)	GP5,GP6	13/09-	Honda インターナビシステム+リンクアップフリー 12セグ・ワンセグ対応 TV リアカメラ付き

スイッチ操作手順



- OFFモード** 車両通信終了(停止)
 - ノーマルモード** テレビ映らない、ナビ目的地設定できない、自車位置正常に動く
 - TVモード** テレビ映る、ナビ目的地設定できない、自車位置正常に動く
 - ナビモード** テレビ映る、ナビ目的地設定できる、自車位置する
- ※コンパクトスイッチアダプターを取り付けた際のスイッチイラスト図になります。

3秒以上長押しして淡く点灯

- ★ドアのロック・アンロック、ドアの開閉、イグニッションスイッチのONなど、エンジンを始動しなくても、車両の通信が始まると、スイッチの赤LEDが淡く点灯または点灯します。
- ★エンジンを停止させてドアをロックした後、数分間は通信が行われている為、すぐに赤LEDは消えませんが、数分経つと通信が終了し、本体電源が落ちた後、スイッチの赤LEDも消灯します。
- ★走行中にスイッチを操作させナビモード(点滅)させた場合、車速感应音式量調整機能が働かなくなり、スピーカーの音量が変わる場合があります。その際は、もう一度スイッチを操作し赤LEDを点灯に戻すと元に戻ります。
- ★サイドカメラ、フロントカメラ装着車で、カメラを自動切り替えに設定している場合、スイッチを押して赤LEDを点滅させるとカメラ映りが替わります。戻るボタンなどの操作などで以降の操作を行って下さい。
- ★TV-NAVI JUMPER の場合、ナビモード(点滅)から1回押すとTVモードになり(点灯)、3秒以上長押ししてノーマルモードへ変わります。また、ナビモードにした場合、5分後に自動的にTVモードへ切り替わります。
- ★TV-NAVI JUMPER 取り付け時、バッテリーを外しナビユニット本体の電源が落ちた後、再度エンジンを始動した時、GPSの電波を受信するのに時間がかかる場合があります。また、GPSアンテナの周辺(インストールパネル内部中央)にCAN本体をはじめとする、金属製品などを置く、GPSが受信されない場合があります。

常時電源取り出しについて

本製品の適合車種すべて、別途常時12V電源を取る必要があります。取り出し方法、取り出しが可能な場所(配線)を下記に示します。

- 注** ※車両(車種)によって電源位置が異なる可能性がありますので、必ず、実車で電源テスターなどを使用して、常時電源線に確実に接続して下さい。
 - ※他の電子部品と電源取り出し位置が同じ場合、CAN本体に常時電源の12Vが供給されているか、確認を行なって下さい。動作不良の原因になります。
 - ※正しい場所へ接続が出来ないと、本製品は動作いたしません。
- また、本製品の接続ハーネスの電源線には、電源の取り出しに使用できるエレクトロタップがあらかじめ取り付けられています。詳しくは、エレクトロタップ使用方法をご覧ください。

TVモニター(ナビユニット)に刺さっている24ピンのコネクターより常時12V電源を取ることが可能です。

ナビユニットから取り外した24ピンコネクターのロックを上にし、正面から見て下段の一番左側の線が常時12V電源線です。



下段の一番左側が常時電源線です。

エレクトロタップ使用方法

本製品には電源を取り出す際に使用できる、下記のようなエレクトロタップが接続ハーネスの電源線にあらかじめ、取り付けられています。



※配線の太さによっては付属のエレクトロタップでは、接触不良を起こす場合があります。その際は、エレクトロタップを取り外し、配線同士を圧着端子等でしっかり接続させてください。

また、接続後は必ず絶縁保護を行なって下さい。

※エレクトロタップの使用方法を誤ると、製品や車両の故障・破損や、感電などの重大な事故に繋がる場合があります。下記の手順でプライヤー等の工具を正しく使用し、確実に取り付け作業を行なって下さい。

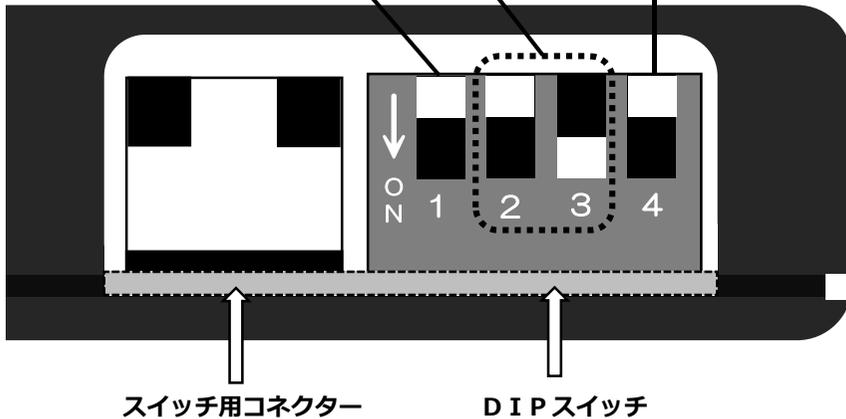


DIPスイッチ拡大図

OFF スタートモード (初期状態)・・・上に設定
ON スタートモード・・・・・・・・・・下に設定

2を上へ、3は下へ設定

上にあることを確認して下さい。



注 DIPスイッチ2,3の位置が上図のように設定されているか必ず確認して下さい。

OFF (上)

OFF スタートモード：エンジン始動時はノーマルモード (TV 視聴不可) (初期設定状態) スイッチを操作し TV 視聴が可能になるモードです。エンジンを始動させる度に、スイッチの操作が必要になります。

ON (下)

ON スタートモード：エンジン始動時から TV モード (TV 視聴可能) スイッチを操作せずに最初から TV 視聴が可能なモードです。スイッチを操作すればノーマルモードにも設定可能で、そのままノーマルモードでエンジンを切り、再びエンジンを始動させても TV モードで起動し、TV 視聴が可能です。

オデッセイ (13/11- RC*)

- ① かん合 (3ヶ所)、ツメ (2ヶ所) をそれぞれ外し、モニター下側オーディオメンテナンスリッドを外して下さい。(図1参照)
- ② ボルト (2ヶ所)、かん合 (9ヶ所) をそれぞれ外し、TVモニターとエアコンルーバーASSY (オーディオ&ナビゲーションユニット) を手前に引き出して外して下さい。(図2、3、4参照)

～以上でオーディオ&ナビゲーションユニットの取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

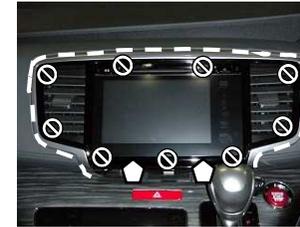
- ① DIPスイッチの上下位置を確認して下さい。(DIPスイッチ拡大図参照)
- ② ナビユニット背面の20ピンコネクタにハーネスを取り付け下さい。(図5参照)
- ③ 本製品の接続ハーネスの赤線を常時電源 (12V) へエレクトロタップで結線し、U型アース端子をボディアースして下さい。(常時電源取り出しについて、エレクトロタップ使用方法参照)
- ④ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑥ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図1



⊙ かん合
◆ ツメ

図2



⊙ かん合
◆ ボルト

図3



図4



上図は、TVモニターとエアコンルーバーASSYを取り外した際の図になります。

図5



24ピンコネクタ
20ピンコネクタ

フィット・フィットハイブリッド(13/09- GK*, GP*)

- ① かん合 (4ヶ所) を外し、メーターバイザーを取り外して下さい。(図 1 参照)
- ② ツメ (8ヶ所) を外し、センターアッパーガーニッシュを取り外して下さい。(図 2 参照)
- ③ かん合 (5ヶ所) を外し、センターアッパーリッドを外し、ボルト (2ヶ所) を外して下さい。(図 3、4 参照)
- ④ ビス (1ヶ所)、かん合 (4ヶ所)、コネクター類を外してセンターロアカバーを外して下さい。(図 5 参照)
- ⑤ センターロアカバーを外したところから覗き込むと、上部にボルト (1ヶ所) があるので外した後、かん合 (6ヶ所) を外し、ナビユニット ASSY を引き出して下さい。(図 6、7 参照)

～以上でオーディオ&ナビゲーションユニットの取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① DIP スイッチの上下位置を確認して下さい。(DIP スイッチ拡大図参照)
- ② ナビユニット背面の 20 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。(図 8 参照)
- ③ 本製品の接続ハーネスの赤線を常時電源 (12V) ヘレクトロタップで結線し、U 型アース端子をボディアースして下さい。(常時電源取り出しについて、エレクトロタップ使用方法参照)
- ④ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ⑤ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑥ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



⊘ かん合

図 2



✕ かん合

図 3



⊘ かん合



左記は、メーターバイザーを取り外した状態になります。取り外す際は、ステアリング位置を、一番下げておくと、作業がしやすいです。

図 4

図 5



✕ ツメ
✕ ビス



図 6

◆ ボルト

図 7



⊘ かん合

図 8



24 ピンコネクター

20 ピンコネクター

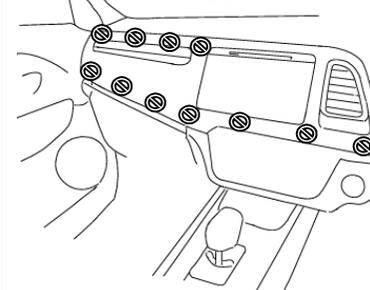
ヴェゼル・ヴェゼルハイブリッド (13/12- RU*)

- ① かん合 (11ヶ所) を外し、アシスタントパネルを取り外して下さい。(図 1 参照)
- ② ナビゲーションユニット ASSY 上部にあるボルト (2ヶ所) を外し、ナビゲーション下部にあるボルト (1ヶ所) を緩めてください。(図 2 参照)
※この時、下部にあるボルト (1ヶ所) は外すのではなく緩めるだけで注意して下さい。
- ③ ナビゲーションユニット ASSY の上部を手前側に傾けて、ブラケットと下部のボルトのかん合を外して引き出して下さい。

～以上でオーディオ&ナビゲーションユニット取り外し作業は終了です。ここからは、製品取付作業です。～

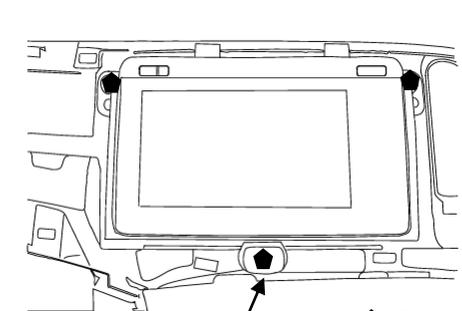
- ① DIP スイッチの上下位置を確認して下さい。(DIP スイッチ拡大図参照)
- ② ナビユニット背面の 20 ピンコネクターにハーネスを取り付け下さい。(図 3 参照)
- ③ 本製品の接続ハーネスの赤線を常時電源 (12V) ヘレクトロタップで結線し、U 型アース端子をボディアースして下さい。(常時電源取り出しについて、エレクトロタップ使用方法参照)
- ④ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ⑤ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑥ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



⊘ かん合

図 2



◆ ボルト

オーディオ&ナビユニットブラケット

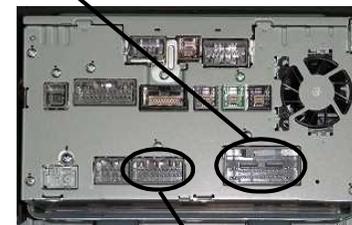
ボルト

注

この部分のボルトは取り外さずに、緩めてオーディオ&ナビユニットを取り外して下さい。

緩めすぎによる、ボルト落下、紛失に注意して下さい。

24 ピンコネクター 図 3



20 ピンコネクター

グレイス (14/12- GM*)

- ① かん合 (4ヶ所) を外し、メーターアッパーバイザーを取り外して下さい。(図 1、2、3 参照)
- ② かん合 (4ヶ所) を外し、ドライバロアカバー、ドライバロアガーニッシュを外して下さい。(図 4 参照)
※この時、ドライバロアカバー (下側) とドライバロアガーニッシュ (上側) は 2 枚のパネルに分かれています。裏側から 2 本のビスで固定されているので、一緒に外して下さい。
- ③ ツメ (6ヶ所) を外し、センターコンソール部上側のリッドを取り外して下さい。(図 5 参照)
この時、破線丸部にきりかけがあるので、保護をしっかりとし、ここにマイナスドライバー等を差し込んでとり外して下さい。
- ④ ③で取り外したリッドの部分から上側を覗くように見るとボルト (2ヶ所) があるので、取り外して下さい。(図 6 参照)
- ⑤ かん合 (9ヶ所) を外しオーディオ&ナビゲーションユニットを取り外して下さい。(図 7 参照)

～以上でオーディオ&ナビゲーションユニット取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① DIP スイッチの上下位置を確認して下さい。(DIP スイッチ拡大図参照)
- ② ナビユニット背面の 20 ピンコネクタにハーネスを取り付け下さい。(図 8 参照)
- ③ 本製品の接続ハーネスの赤線を常時電源 (12V) ヘレクトロタップで結線し、U 型アース端子をボディアースして下さい。(常時電源取り出しについて、エレクトロタップ使用方法参照)
- ④ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ⑤ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑥ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

図 1



図 4



図 7



かん合

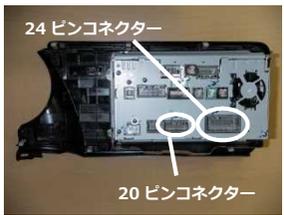
図 2



図 5



図 8



20 ピンコネクタ

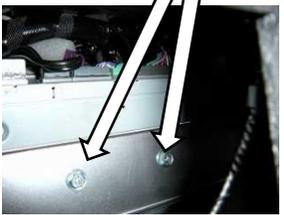
図 3



図 6



ボルト



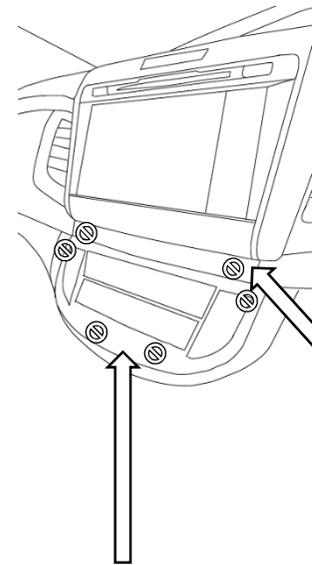
ジェイド (15/02- FR4)

- ① かん合 (2ヶ所) を外し、センターガーニッシュを取り外して下さい。(図 1 参照)
※この時、かん合が硬く外れない場合は、助手席のグローブボックスを一旦外し、裏側からかん合を押して、センターガーニッシュを取り外して下さい。(力の入れすぎに注意してください。)
- ② かん合 (4ヶ所) を外し、オートエアコンコントロールユニットを取り外して下さい。(図 1 参照)
- ③ かん合 (6ヶ所)、ボルト (2ヶ所) それぞれ外し、オーディオ&ナビゲーションユニットを取り外して下さい。(図 2 参照)

～以上でオーディオ&ナビゲーションユニット取り外し作業は終了です。ここからは製品取付作業です。～

- ① DIP スイッチの上下位置を確認して下さい。(DIP スイッチ拡大図参照)
- ② ナビユニット背面の 20 ピンコネクタにハーネスを取り付け下さい。(図 3 参照)
- ③ 本製品の接続ハーネスの赤線を常時電源 (12V) ヘレクトロタップで結線し、U 型アース端子をボディアースして下さい。(常時電源取り出しについて、エレクトロタップ使用方法参照)
- ④ 本製品本体を固定して下さい。その際、配線などが濡れて金属部分に触れていないか等を確認して下さい。
- ⑤ 確認作業終了後、バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。
- ⑥ TV、ナビの動作確認後、問題がなければ外した部品を今と逆の手順で戻して終了になります。

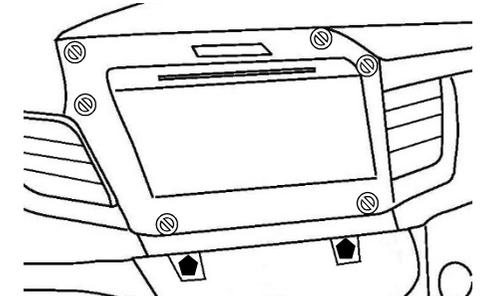
図 1



センターガーニッシュ

オート A/C コントロールユニット

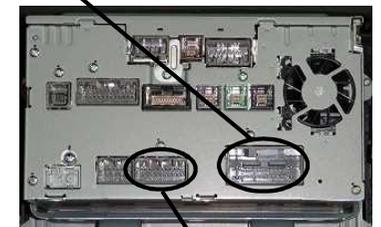
図 2



かん合
ボルト

図 3

24 ピンコネクタ



20 ピンコネクタ

取り付け後の確認作業事項

本製品を取り付ける際、バッテリーのマイナス端子を外した事で、場合によっては、設定がリセットされてしまい、動作しなくなる場合があります。その場合は、下記の方法、または、車両の取扱説明書等をお読みになり、初期設定をしておいて下さい。

- ★パワーウィンドウ・・・・・・・・各ドアのパワーウィンドウをそれぞれのスイッチで全開から全閉にし、さらに5秒以上スイッチを開る方向へ操作し続けて下さい。
- ★電動サン・ムーンルーフ・・・・ルーフが可動できる動作をすべて行い、チルトアップボタンまたは、全開、全閉ボタンを操作し続けて下さい。
- ★バックガイドモニター・・・・平坦な駐車場などに車を止め、バックモニターを表示させた状態で、左右両側にステアリングをすり切りまで切ってください。
- ★パワースライドドア・・・・手動でパワースライドドアの開閉を行なって下さい。



- ※上記の初期設定は、正常に動作しない場合のみ作業を行なってください。
- ※車種などによっては必要ない場合があります。
- ※上記初期設定は代表例です。